

IV 商品テスト事業のあらまし

1 商品テストの概要

- (1) 平成18年度に実施した商品テスト
14件の商品について、延べ141検体のテストを実施しました。

実施商品テスト一覧

区分	テスト		試買テスト		実習指導テスト		外部依頼テスト(国セン)		苦情テスト		計	
	件数	検体数	件数	検体数	件数	検体数	件数	検体数	件数	検体数	件数	検体数
繊維関係	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
食品関係	2	20	3	50	1	1	1	1	1	1	7	72
雑貨工業品関係	1	49	3	12	1	1	1	1	1	2	6	64
計	4	74	6	62	2	2	2	2	2	3	14	141

(注) 商品テスト等の区分について

- ・ 試買テスト
消費者が商品を選択する際に必要な情報や資料を提供するために行う。
- ・ 実習指導テスト
消費者が自ら商品等をテストし、その知識を深めたり環境に配慮した生活を実践するための消費者参加テスト。

(2) 試買テストの実施状況

- ア 繊維関係
- ・エコバッグ
- イ 食品関係
- ・鍋の素(平成18年度北海道・東北ブロック共同試買テスト)
 - ・ゼリー飲料
- ウ 雑貨工業品関係
- ・静電気除去グッズ

2 商品テストに関する情報提供

No.	請求者	請求内容
1	出版社	むき栗のテスト資料
2	出版社	少年用ズボンのテスト資料
3	新聞社	むき栗のテスト資料
4	新聞社	少年用ズボンのテスト資料
5	新聞社	携帯型ライトのテスト資料

3 実習指導テストの実施状況

開催回数	開催月日	テーマ	実習内容	実施場所	実習者	参加者数
1	18. 8. 20	ジュースの糖度、スナック菓子の脂質について	清涼飲料水の糖度、スナック菓子の脂質	消費生活センター研修室	福島一小児童	7
2	18.11.21	ジュースの糖度について	清涼飲料水の糖度	消費生活センター研修室	福島一小父兄	1
3	19.2.11	静電気について	静電気の電圧測定	こむこむ館	福島市内小学3,4年生と父兄他	22
4	19.2.11	静電気について	静電気の電圧測定	こむこむ館	福島市内小学3,4年生と父兄他	16
5	19.2.11	静電気について	静電気の電圧測定	こむこむ館	福島市内小学3,4年生と父兄他	28
6	19.3.8	ジュースの糖度について	清涼飲料水の糖度	福島第一小学校	福島一小5年生と父兄	32
計6回						106

4 試買テストの概要

<衣>「エコバッグ」

1 目的

スーパーなどで使用されるレジ袋の使用枚数は、年間約300億枚と言われていています。レジ袋の原料となる石油資源の枯渇問題から、使用後に大半が廃棄されるレジ袋の節約が叫ばれています。スーパーなどでは、レジ袋をなるべく使わないように、買い物袋を自宅から持参することを推奨するとともにエコバッグの販売を行っています。そこで、そのエコバッグについてテストを実施し、消費者へ情報提供を行うことにしました。

2 テスト対象品

エコバッグ 5銘柄

3 テスト項目

- (1) 表示
- (2) 価格
- (3) 把手の強度
- (4) アンケート調査
- (5) モニター調査

4 テスト結果

- (1) 価格は280円～525円で、平均376円でした。
- (2) すべての銘柄で使用上の注意が表示されているわけではありませんでした。角のある商品を入れる際は、袋が破損する可能性があるため注意が必要です。サイズ表示及び洗濯絵表示のない銘柄がありましたが、商品購入の際の参考となりますので表示が望まれます。
- (3) 2本の把手が本体に縫い付けられている構造のエコバッグについては、通常の買い物では把手縫い付け部の強度に問題がないことが確認できました。
- (4) アンケート調査(307名)より
 - ・エコバッグに対する認知度は高いことがわかりました。(94.7%)
 - ・使用に際しては、レジ袋に利用目的があるため、実行に移せない人が多いことがわかりました。
 - ・エコバッグの購入を考えている人が多く、コンパクトに折り畳めるなどの機能性や、把手が丈夫であるなどの耐久性に着目する傾向がわかりました。
- (5) モニター調査より

全般的に機能性、容量については評価が高かったものの、デザインなどの意匠性や使い心地については評価が分かれました。
- (6) 消費者へのアドバイス

商品表示をしっかりと確認し、個人の生活様式に合った形状やデザインの商品を選択するとよいでしょう。

<食>「鍋の素」

1 目的

冬の定番料理といえば「鍋物」ですが、最近では自宅で「だし」をとる手間をなくし具材をいれるだけでプロの味が味わえる液体タイプの「鍋の素」が人気のようです。そこで塩分等の成分や価格等を調査し消費者に情報提供することとしました。

2 テスト対象品

鍋の素 12銘柄（「キムチ鍋の素」6銘柄、「寄せ鍋の素」6銘柄）

3 テスト項目とテスト方法

(1) 表示

(2) 価格

100gあたりに換算し購入価格を比較しました。（希釈用のものは指示された倍率に希釈して換算）

(3) 内容量

皆掛け量から風袋量を差し引くことで内容量を求めました。容量表示のものは計量用シリンダーで測定しました。

(4) 栄養成分等

ア 塩分:モール法

イ 可溶性固形分:糖用屈折計による・・・「寄せ鍋の素」のみ測定

ウ 無塩可溶性固形分:可溶性固形分と塩分による算出・・・「寄せ鍋の素」のみ測定

エ カプサイシン:高速液体クロマトグラフ法(民間検査機関に委託)・・・「キムチ鍋の素」のみ測定

(5) 食味テスト

モニター12名(キムチ鍋の素は8名)にて実施。表示された調理方法に従い、具材を加え調理したものを銘柄ごとに評価してもらいそれらの合計点数で比較しました。

4 テスト結果

(1) 価格はストレートタイプの方が高い傾向であり、最も安いものと高いものでは3倍程度の差がみられました。

(2) 塩分は、キムチ鍋の素が寄せ鍋の素より高い傾向が見られました。また栄養成分表示に記載された「食塩相当量」と今回テストした分析値を比較したところほぼ表示どおりでした。商品選択の際は栄養成分表示を参考にしてください。

(3) 食味テストの評価は、「糖分や旨み成分の濃さ」の指標となる無塩可溶性固形分が高いものが最も高く、寄せ鍋の素の場合「甘み」「旨味」の強いものが好まれる結果でした。

(4) 辛味成分である「カプサイシン」の濃度は銘柄によって大きな差が見られました。また「赤い色」は辛味をイメージしますが実際には色と辛味は関係がなく、今回テストした商品の中でも赤色の着色料を使用しているものもあり「色」は商品選択の目安にはならないと思われます。

<食>「ゼリー飲料」

1 目的

エネルギーの補給やバランス良い栄養成分の含有を謳ったゼリー状の飲料が若者の間で人気を集めています。忙しい朝の朝食代わりやスポーツ時の栄養補給などに飲用している若者も多いようです。

しかし「食育基本計画」のなかでも「バランス良い食事」や「朝食の重要性」が見直されている現在、果たして望ましい栄養が得られているものなのか成分等を比較し消費者へ情報提供することとしました。

2 テスト対象品

8銘柄

3 テスト項目とテスト方法

(1) 表示

(2) 価格

100gあたりに換算し購入価格を比較しました。

(3) 内容量

皆掛け量から風袋量を差し引くことで内容量を求めました。

(4) 栄養成分等

ア 糖度・・・糖用屈折計で測定

イ エネルギー量・・・表示より換算

ウ タンパク質・・・表示より換算

(5) アンケート調査

福島市内の高校生111名（男子57人、女子54人）に対し、ゼリー飲料の利用実態および朝食の摂食頻度についてアンケートを実施しました。

4 テスト結果

(1) 糖度は最も高い銘柄1袋分の糖分を砂糖に換算すると約46gでした。食事摂取基準による15～17才男子の砂糖摂取量（10～20g）を大きく上回っていました。

(2) ゼリー飲料には手軽に「エネルギー補給ができる」「栄養補給ができる」というイメージを抱きがちですが、エネルギー量は1日に必要な量の1割にも満たないものであり、成長期に特に必要な「タンパク質」はほとんど含まれていません。ゼリー飲料は「食事代わり」や「栄養剤」ではなく「嗜好品」と考えてください。

(3) アンケート結果では、ゼリー飲料の利用経験者は約9割であり高い割合を示しました。また、朝食摂食頻度は「毎日食べる」と回答した方は男女全体で74%であり、「全く食べない」と回答した方は男女全体で7%でした。朝食摂食頻度については調査前の予想より高い割合でしたが、さらに「朝食の重要性」等の啓発活動が必要と思われます。

<住>「静電気除去グッズ」

1 目的

冬場の空気が乾燥する季節になると、ドアノブを手でつかんだ瞬間に静電気により痛い思いをすることがあります。この静電気は、場合によっては重大な事故を引き起こす恐れもあります。その一例がセルフ式ガソリンスタンドで給油中、静電気による火花がガソリンに引火したという事故です。最近では店頭で様々なタイプの静電気除去グッズが販売されていますが、どの程度効果があるのかは不明な点です。そこで、手軽に利用できるタイプの静電気除去グッズについてテストを実施し、消費者へ情報提供を行うことにしました。

2 テスト対象品

- (1) 静電気除去キーホルダー(40銘柄)
- (2) 静電気除去リング(9銘柄)

3 テスト項目

- (1) 表示
- (2) 価格
- (3) 材質と形状、重量、サイズ
- (4) 電圧の測定
- (5) 使用テスト(静電気除去リングのみ)

4 テスト結果

(1) 価格

キーホルダーについては、105円～1,449円と価格に幅がありましたが、リングは105円～298円であり、購入には手頃な価格でした。

(2) 表示

キーホルダーには使用方法表示及び注意表示が全銘柄でありましたが、リングは全銘柄とも注意表示のみにとどまりました。キーホルダーには品質表示のないものが多く、また、リングでは品質表示があっても、繊維の含有量表示のない銘柄がありましたので表示の改善が望まれます。

(3) 中和率

- ・キーホルダーは、高価格な銘柄の中和率が低い結果となりました。反対に、リングは高価格な銘柄の中和率が高い結果となりました。
- ・キーホルダーは、先端が金属製で突起状のものの中和率が高い結果となりました。金属製の材質のものは全般的に中和率が高い傾向にあります。

(4) リングの使用テスト

全銘柄とも、指に電撃を感じました。帯電している対象物へは効果が認められませんでした。

(5) 全般的なアドバイス

静電気が引き起こすくらしの中の身近な危険としてあげられるのは、セルフ式ガソリンスタンドです。静電気火花がガソリンへ引火して火災が発生する事故が報告されています。たとえ静電気除去グッズを装着していても、万全を期して備え付けの除電シートで人体の静電気を確実に除去してから給油を行ってほしいものです。